

# 社協だより

第76号 平成28年3月1日発行

編集・発行



社会福祉法人  
名取市社会福祉協議会

名取市増田字柳田80 市役所西棟  
TEL022-384-6669 FAX022-384-6844  
<http://www.natorisyakyo.or.jp/>



「ほっとなとり なちゆる」利用者の皆さんと  
(平成28年1月26日 竹駒神社にて)

“その人らしく自然体で”

住み慣れたなとりで  
その人らしく自然体で

なちゅらな暮らしを続けていく。

それができる可能性を信じて…

このようなコンセプトから生まれたのが  
小規模デイサービス  
「ほっとなとり なちゆる」です。

\*詳しくは4頁～5頁に掲載しています。



# 社会福祉協議会 下半期事業のご報告

## 第四十一回 名取市社会福祉大会を 開催

平成二十七年十一月二十七日、名取市文化会館の中ホールを会場に第四十一回名取市社会福祉大会を開催しました。

大会前半は、記念事業として、ジャズ・ミン・トリオ（クラリネット・菊池澄枝、フルート・櫻井希、ピアノ・鷲尾恵利子）による復興コンサートを行いました。

このコンサートは、東日本大震災以後、五百回を超える復興コンサートを企画



▲式辞を述べる  
佐々木会長



▲ジャズミン・トリオによる復興コンサート  
「希望の芽生え in なとり」

し、被災した方々と音楽家をつなぎ、音楽を通じた復興支援活動を行ってきた「公益財団法人 音楽の力による復興センター・東北」の協力により実現しました。演奏曲は、「青い山脈」や「北国の春」など馴染みの曲もあり、プロの音楽家が奏でる旋律に会場の参集者は元気づえるおいを得られたようでした。

また、その後に行われた表彰状並びに感謝状の贈呈式では、日頃より各分野で福祉に功績のあった個人、団体合わせて四十九名の方々が受賞されました。

## 大和町災害ボランティアセンター への支援活動について

平成二十七年九月十一日に発生した台風十八号による大雨により、日本各地で大きな被害がありました。



▲社協職員は、活動場所へボランティアを案内し、住民とのつなぎ役を担いました。

宮城県内でも大崎市や栗原市、大和町で特に大きな豪雨被害があり、大崎市・大和町の社会福祉協議会ではボランティア受け入れのため、災害ボランティアセンターを設置しました。

名取市社会福祉協議会では、「仙台都市圏域等市町村社会福祉協議会災害ボランティアセンター」の相互支援に関する協

定」により、大和町災害ボランティアセンター（以下 大和町災害ボラセンと表記）へセンター運営のため、九月十五日から二十九日まで、延べ二十三名の職員を派遣しました。

大和町では、被害の大きかった高田地区と舞野地区にサテライトセンターを設置し、ボランティアがスムーズに現地へ活動できるよう工夫をしました。名取市社協の職員は舞野サテライトの担当となり、巨理町や山元町、川崎町、仙台市などの社協職員とともに、ボランティア派遣調整や被災した住民へのニーズ調査などを行いました。



▲舞野地区サテライトは被災した地区の集会所のような所で、活動場所にも近く、地域のボランティアや区長、民生委員など地元の方々と連携して運営されました。

舞野地区サテライトでは、地域の皆さんへの働きかけは民生委員や行政区長など地元の方が、サテライトの運営は東日本大震災での経験を活かし社協職員が行うなど、互いの得意分野を組み合わせる運営しました。

大和町災害ボラセンは九月三十日に閉所し、社協職員の派遣支援も終了しましたが、被災した住民の皆さんの支援は引き続き地元大和町社協が行っています。

名取市社協としても、被害に遭われた方々が一日も早く元の落ち着いた生活を送れるよう、これからも大和町社協へ協力し支援活動を行ってまいります。

### 減災教育の取り組み

#### 「非常食を使ったおやつ作り」

十月十日に行われたみどり台町内会の



▲みどり台町内会の子供たち。準備からお手伝いしてくれました。

防災訓練。その中で減災教育に関する取り組みを行いました。



▲普段あまり見ないアルファ米に主婦のみなさんも興味津々

今回の取り組みは、みどり台町内会役員の方から名取市社協へ相談があり実現したもので、復興支援業務の関係で関わりのあった団体、コミュニティ・4・チルドレンとの協働により、「非常食を使ったおやつ作り」を行いました。

当日はアルファ米を使ったおはぎレシピを紹介し、集まった子どもたちと一緒に作ってみました。包丁もお鍋も使わない調理方法のため、小学校入学前の小さなお子さまから、保護者の方まで、楽しく安全にそして素早くおやつ作りを行いました。

コミュニティ・4・チルドレン作成のおやつレシピには、集まったお母さん方

も興味津々。「今度、お家で作ってみすね!」「賞味期限が切れそうな時はおやつを作ればいいのね。」とたくさん感想をいただきました。また、子どもたちからも「おいしい!!」「楽しい!」「もっと作りたい!」と、嬉しい声をいただきました。

町内会の防災訓練に参加し、このような取り組みを行ったのは名取市社協としては初めての試みでしたが、住民の皆さんのより近くで、顔を合わせながらの活動に地域と関わる大切さを改めて感じました。

今後、地域の皆さんや関係団体と協働し、このような取り組みを行ってまいります。

### 民生委員児童委員のための相談技法研修会を開催

十月二十二日、



名取市民生委員児童委員協議会と仙南ブロック民児協連絡協議会の共催で、「民生委員児童委員のための相談技法研修会」を

開催しました。

この研修会は、地域の中での相談役である民生委員児童委員がコミュニケーションを図るうえで傾聴力や相談を受ける姿勢等について学習することを目的とし、「合同会社福祉人材ファームCO・PRO(コプロ)」の代表 田中 稔氏を講師に迎え、演習を取り入れた講義を行いました。

当日は、名取市だけでなく、仙南の市町村の民生委員児童委員も参加し、総勢三百八十名での研修となり、みなさん熱心に学んでいました。



▲伝えること、共有しようとするものの難しさを学ぶ演習「サイレントトーク」

もつひとつのおうち

# ほっとなとり なちゆる

## 平成二十七年十一月 那智が丘にオープン!

小さなデイサービス「ほっとなとり なちゆる」が、昨年十一月、那智が丘にオープンしました。

「ほっとなとり なちゆる」では、「もつひとつのおうち」というキャッチコピーのもと、ご利用者が自宅でご過ごすのと同じように、ゆったりとした時間を過ごしていただけるよう、家庭的なサービスを行っています。



▲「なちゆる」外観



▲みんなで食事。まるで大家族のような光景です。

### 「なちゆる」の一日

「ほっとなとり なちゆる」の一日に特別なものはありません。そこには、普段の家庭の日常があります。

何気ない家庭生活の中で、ご利用者とスタッフ、またご利用者同士で寄り添い、ふれあい、まるで本当の家族のようない日を過ごしていきます。

### 合言葉は

「ただいま」  
「おかえりなさい」  
「いっくらしゃら」

ご利用者も、スタッフもみんなここでは家族の一員です。

お迎えとお見送りは「ただいま」「おかえりなさい」「いっくらしゃら」。

また、日常作業もみなで行います。食器拭きや洗濯物を干すなどご利用者ができる範囲内でお手伝いしていただいています。ここには家庭での日常生活があります。

また、ご利用者のご家族も家族の一員として、お互いに支え合っていくために、まさに「家族ぐるみのお付き合ひ」をさせていただいています。



▲みんなで協力してタオル干し



▲心のこもった手作りのおやつをお召し上がりいただいています。



▲みんなでお出掛けもします。この日は初詣に行きました。



▲みんなでゲーム、楽しく脳トレ

ご利用者の声

- ・ほんとに普通の家だなあ〜
- ・ここは感じのいいところだね。
- ・食事をみんなで食べるのがいいね。
- ・家だと運動しないから運動できてよかったなあ。
- ・お風呂に入って本当に気持ちがいいね。
- ・頭も洗ってもらってスッキリだね。
- ・今日はいっぱい笑ったわ！
- ・泊まっていきたいなあ〜
- ・ここに来てよかった、若返った感じがする。

「地域福祉の拠点として」

「ほっとなとりなちゆる」では、地域福祉の拠点として、住民参加型のデイサービスでありたいと考えています。地域の方々とのコミュニケーションも大切に、今後、地域や町内会行事などへ参加していきたいと考えています。



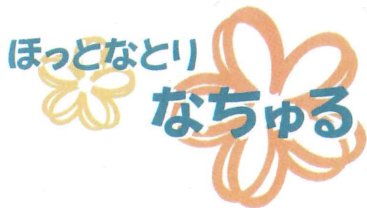
▲こんな素敵な笑顔に出会えます。

「ほっとなとりなちゆる」  
○月△日のスケジュール

16:45	15:00	13:00	12:00	10:00	9:30
退所 (ご自宅へお送りします)	おやつ・なつメロ合唱	お昼寝・散歩・お買い物	後片付け 昼食	朝のお茶会 (2日のスケジュールをみんなで決めます) 入浴・みんなでトランプ	来所 (なちゆるに到着) (送迎車でご自宅にお迎えします)



▲名取市内全域に送迎いたします。



社会福祉法人 名取市社会福祉協議会  
 指定居宅サービス事業所ほっとなとり なちゆる  
 住 所：〒981-1244  
           名取市那智が丘1丁目13-8  
 TEL：022(398)9186  
 FAX：022(398)9187  
 E-mail：natyuru@natorisyakyo.or.jp

スタッフより  
 自然豊かな那智が丘に、小さなデイサービスを始めました。  
 家庭的な雰囲気の中でご利用いただく皆様と、ティータイムやゲームなどを通じ、楽しい時間を過ごしています。  
 たくさんのイベントなどを企画しながら、皆様の「おもい」を形にしていきたいと思えます。  
 「もうひとつのおうち」でスタッフ一同、笑顔でお待ちしています。  
 管理者 高橋 美加子



～みなさまからたくさんのご協力をいただきありがとうございました。～

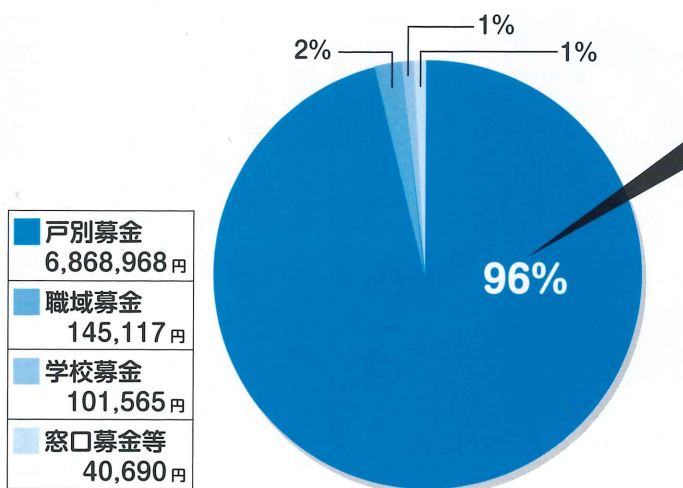
平成27年度

# 赤い羽根共同募金実績額のご報告

(平成28年1月末現在)

## 7,156,340円

### 募金種別内訳



### 【戸別募金の地区内訳】

地区	募金額 (円)
増田	1,359,439
増田西	1,144,500
名取が丘	561,380
閑上	126,500
下増田	631,300
館腰	886,238
愛島	574,851
高館	556,000
ゆりが丘・みどり台	310,760
相互台	474,300
那智が丘	243,700
合計	6,868,968

## 募金活動へのご協力ありがとうございました。



### 街頭募金が行われました。

平成27年10月25日にイオンモール名取を会場に、宮城県名取北高等学校 奉仕活動部が街頭募金を実施しました。

多くの方からご協力いただき、22,442円の募金となりました。

\*街頭募金をお考えの団体の方へ

募金箱など資材の貸出しを行っております。詳しくは下記までお問合せください。

[問合せ先] 名取市共同募金委員会 TEL022 - 384 - 6669

### イベント募金が行われました。

平成27年11月4日、特別養護老人ホーム松陽苑にて『赤い羽根共同募金』の活動にご協力をいただきました。

当日は、本町老人クラブ常盤会の協力により、会員による寸劇や大黒舞などの披露もあり、会場は大いに盛り上がりました。



# 社会福祉協議会に寄付をいただいた方々を掲載しました。

(平成27年9月1日～平成28年1月31日の間)

善意の気持ちを大切に、みなさまに喜んでいただけるような活用をさせていただきます。

【現金の寄付】★27年8月31日までの寄付金は前回発行の「社協だより第75号」に掲載済みです。

(敬称略)

月日	氏名	金額(円)
H27.9.11	増田西地区町内会連合会	59,000
9.18	京浜精密工業株式会社(横浜市)	73,250
9.24	愛島公民館「男性いきいきライフ講座」	483
10.19	みちのくフリーマーケット協会(増田西)	5,000
10.23	GG名取市協会 代表 佐々木 常夫	1,800
10.30	名取市ボランティア連絡会 名取が丘支部	2,300
11. 6	愛島公民館まつり 福祉委員会募金	15,311
11.13	那智が丘公民館まつり コーヒーコーナー係	6,156
11.18	増田西婦人会	10,000
11.24	箱塚老人クラブ若草会	10,987
12. 7	みちのくフリーマーケット協会(増田西)	5,000
12. 8	増田グラウンド・ゴルフ愛好会 会長 渡辺 定男	3,300
12. 9	増田婦人会	28,000
12.15	故人 松浦 光倫(愛島)	100,000
12.17	株式会社仙台水産 代表取締役会長 島貴 文好	2,000,000
12.22	館腰公民館 食の成り立ちを学ぶ講座	2,790
12.24	愛島公民館 愛島寿教室	327
12.24	愛島婦人会	13,000
H28.1.15	有限会社モンドール 代表取締役 佐藤 一昭「店内設置募金箱」	14,877
1.25	GG名取市協会 代表 佐々木 常夫	2,400
1.26	宮城県名取北高等学校 父母教師会	33,550

\*その他、匿名希望の方から寄付金(6件・8,115円)をいただきました。



【物品の寄付】

(敬称略)

月日	氏名	金額(円)	払い出し先
H27.9. 8	ジャパンゴルフツアー選手会 会長 池田 勇太	スズキ・アルトセダンL 650cc 1台	社会福祉事業に活用
9.18	メガネの相沢 名取店 代表取締役社長 相澤 博彦	老眼鏡クーポン券 20組	市内高齢者
9.28	齋藤 榮子 (名取が丘)	タオル 50枚	市内2施設
11.16	北川互助会 世話役 佐々木 英一(柴田郡川崎町)	お茶、コーヒー、菓子等 2箱	市内仮設集会所
11.24	上余田婦人会	タオル 50枚	市内3施設
12.25	齋藤 彰徳(那智が丘)	掛け布団 4枚	小規模ディサービスなちゆる
H28.1. 4	板橋 良子(上余田)	手作り毛糸ぬいぐるみ 200個	市内7児童センター等

\*その他、匿名希望の方から物品(4件 米、雑巾、紙オムツ、介護用スリッパ)を頂きました。



▲ジャパンゴルフツアー選手会様より福祉車両を寄贈いただきました。(贈呈式にて・宮里 優作様)



▲株式会社 仙台水産 会長 島貴 文好様、専務取締役 鈴木 隆志様より贈呈いただいた時の様子。立会人として名取市長にご同席いただきました。

つながりあい、支え合う地域づくりをめざして



認知症サポーターキャラバン

# あなたも認知症サポーターになれる！ 養成講座を開催します

全国に約713万人の認知症サポーターが誕生しています。(平成27年12月末現在)  
認知症サポーターは、何か特別なことをする人たちではありません。

認知症を正しく理解し、もし身近に認知症の人がいたときにそっと見守る、そっと手助けする方が地域にたくさんいることを目指して実施します。

日時：平成28年3月17日(木) 10:30～12:00

場所：名取市文化会館 希望の家

対象：名取市民の方で、関心のある方

定員：30名(先着順)

参加費：無料

内容：◆認知症サポーターとは ◆認知症の理解と症状や行動心理

◆<寸劇>認知症の方への関わり方

◎ほっとなとりスタッフが、キャラバン・メイトとして講義を担当します。



受講された方には、「認知症サポーター」の証**オレンジリング**をお渡しします。



◆申込方法：3月11日(金)までにお電話で申込みしてください。

◆電話番号：022-399-8856 指定居宅介護支援事業所ほっとなとり 専用電話まで

## あなたの車いすが学校を走る！

名取市社協では市内小学校等でキャップハンディ体験(福祉学習)を行っています。

キャップハンディ体験とは、ハンディキャップという言葉を入れ替えて作った造語で、車いす体験や視覚障がい体験を通し、子どもたちが「自分にできること」を考えるきっかけづくりや福祉や地域に興味関心を持ってもらうことを目的としています。

現在、このキャップハンディ体験で使用する車いすをご提供くださる方を募集しています。

皆さんがご提供くださった車いすが小学校で子供たちの体験学習に役立ちます！

### 1 ご提供をお願いする車いす

自走式車いす(新品のもの)

※自走式とは右の写真のようなタイプの車いすです。色・模様等は問いません。

※今後、長期にわたり使用したいと計画しております。

※無償での提供をお願いしております。



### 2 ご提供いただける場合

まずは名取市社協(TEL022-384-6669 担当：加藤・福西)へご連絡ください。詳細について打ち合わせさせていただきます。

車いすには、ご提供いただいた方のお名前をプレート等でお付けします。また、社協だよりにてご紹介させていただきます。

「あなた」も「わたし」も「子どもたち」も  
みんなが嬉しくなれるような…  
そんな取り組みを目指します！

印刷／(株)ペナントコーポレーション

384-4547



【お問い合わせ、応募先、ご相談】

## 社会福祉法人 名取市社会福祉協議会

〒981-1292 名取市増田字柳田80番地 TEL 384-6669

ホームページもご覧下さい <http://www.natorisyakyo.or.jp>